

人にも地球にもやさしいあきたをめざして

手数料は

来年7月から家庭ごみを有料化

ごみ1リットル=1円



秋田市が回収するごみ

家庭ごみ

資源化物 粗大ごみ

変更ありません

空き缶・ビン、ペットボトルなどの資源化物は無料のままです。これまでどおりの出し方で集積所へ。

粗大ごみもこれまでどおり有料・戸別収集のままです。出し方も変わりません。



スプレー缶もこれまで通り回収箱へ

これまで広報あきたなどでお知らせしてきたとおり、秋田市ではごみ減量の目標に届かない状況が続いています。その対応策として、市では家庭ごみを来年7月1日から有料化(手数料の負担)します。

手数料は、ごみ1リットルあたり1円で、袋の価格に手数料を上乗せした新しい家庭ごみ用袋を購入することで支払っていただきます。

●環境都市推進課 ☎(800)2943

おむつは無料のままだよ!



来年7月から**有料**

家庭ごみ：生ごみ、衣類、ゴム・ビニール製品など

*落ち葉、刈り草、せん定枝、おむつは有料化の対象外です。

手数料とその納め方

ごみ袋の容量
1リットルあたり1円

手数料を袋の代金に上乗せしたごみ袋を新たに販売します。その袋の購入が、手数料の納付になります。

袋の価格例)

30リットルの袋が10枚80円の場合
：袋の代金80円+手数料(1円×30リットル×10枚)＝380円

現行のごみ袋の

来年7月以降の取り扱い

家庭ごみ用▼使用できません(来年7月までに使い切れなかった家庭ごみ袋は、新しい袋との交換を実施する予定です)

資源化物用▼資源化物専用になります。家庭ごみには使用できなくなります

*腹膜透析を実施しているかたがいる世帯には、申請により一定枚数の家庭ごみ用袋をさしあげます。

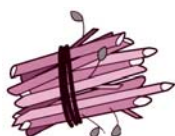
ごみの出し方

1リットルあたり1円の手数料を上乗せした新しい「家庭ごみ用袋」に入れて、これまでどおり集積所へ出してください。

新しいごみ袋は来年6月から販売します。大きさは、10リットル(新規サイズ)、20リットル、30リットル、45リットルの4種類です。

有料化対象外の家庭ごみの出し方

「せん定枝」は、これまでどおり50センチ以下に束ねて出します(1回2束まで)。



「刈り草」「落ち葉」「おむつ」は、資源化物の袋(手数料は上乗せされません)に入れて、家庭ごみの日に出します。

刈り草と落ち葉は一緒の袋に入れて出すことができます。おむつのみ、袋に「おむつ」と書いて、刈り草・落ち葉と混ぜずに出してください。



家庭系ごみ有料化制度説明会

有料になるごみの種類や出し方などを詳しく説明します。申し込みは不要です。直接会場へどうぞ。各会場とも駐車場が狭いので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

1日3回開催▼①午前10時～②午後2時～③午後7時～

開催日	会場
1月25日(水)	雄和市民サービスセンター 岩見三内地区コミセン
26日(木)	大正寺連絡所 下新城地区コミセン
27日(金)	金足地域センター 上新城地域センター
28日(土)	北部市民サービスセンター 北部公民館
29日(日)	河辺市民サービスセンター 飯島地区コミセン
30日(月)	港北地区コミセン 將軍野地区コミセン
31日(火)	外旭川地域センター 寺内地区コミセン
2月2日(木)	東部公民館 旭川地区コミセン
3日(金)	旭北地区コミセン 東地区コミセン
4日(土)	八橋地区コミセン 茨島地区コミセン
5日(日)	泉地区コミセン 川尻地区コミセン
6日(月)	明徳地区コミセン 榎山地区コミセン
7日(火)	保戸野地区コミセン 旭南地区コミセン
9日(木)	下北手地域センター 豊岩地区コミセン
10日(金)	浜田地区コミセン 下浜地区コミセン
11日(土)	西部市民サービスセンター 上北手地域センター
12日(日)	南部公民館 大住地区コミセン
13日(月)	御野場地域センター 秋田テルサ(御所野)
14日(火)	太平地域センター 中央公民館(文化会館内)
16日(木)	勝平地区コミセン 中央公民館(文化会館内)

*2月17日以降の日程は、決まりしだい広報あきたなどでお知らせします。また、町内会に出向いての説明会も開催します。詳しくは環境都市推進課へお問い合わせください。 ☎086(0)29433

手数料の使い道

いただいた手数料は、おもに次のような環境施策に活用します(活用状況は広報あきたなどで公表)。

- **ごみ集積所の美化**…ごみ集積所の設置やカラス除けネットの購入に補助します。また、集積所清掃用のごみ袋を配付します
- **生ごみ処理の普及**…コンポスターの購入補助や、ダンボールで堆肥を作る講座を行います
- **ボランティア清掃を行う団体にごみ袋を配付**
- **集団回収の普及**…集団回収の補助金を増やします
- **資源化物の祝日収集**
- **不法投棄防止の調査・指導を強化**
- **基金の積み立て**…廃棄物処理施設の改修などに備えて基金を積み立てます
- **地球温暖化対策**…循環型社会に向けた施策を行います



みんなで清掃(榎山共和町)

昨年度(1年間)の家庭ごみは7万トﾝでした

水切りと分別で1万トﾝ(14%)削減

秋田市の家庭ごみの半分は生ごみで、次に多いのが紙類です。生ごみの水切り、古紙の分別で家庭ごみを減らそう!

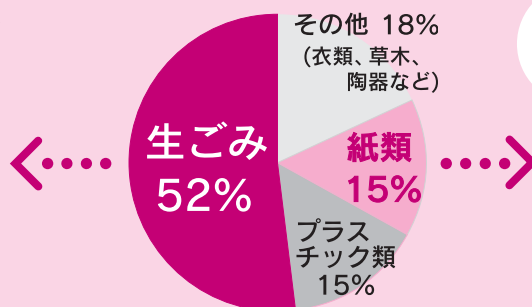
ギュッと水切り2千トﾝ

生ごみは水分を多く含みます。ギュッと絞って1割の水を切れれば、市全体で年間約2千トﾝ(全体の3%)のごみを減らせます。



市の家庭ごみの割合

(平成21年度調査)



8千トﾝは再生可能

紙類のうち8千トﾝ(全体の11%)は再生できるものでした。古紙は有料化の対象となる家庭ごみではなく、資源化物として出しましょう。